

「ミニビブリオバトルをしよう」

○ 小学校（ 4 ）年 教科等（ 総合的な学習の時間 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

・自らのおすすめ本を選び、その本のあらすじや好きなところ、感動したところなど様々な観点から本の魅力について自分の言葉で書く力やその内容を相手に伝える力。

○ 学校図書館活用のポイント

・学校図書館にある本の中から、おすすめ本を一冊選ぶ。
・5～6人のグループを作り、ビブリオバトルを実施し、グループごとに1冊のチャンプ本（最も票を集めた本）を決定する。チャンプ本に選ばれた本は学校図書館で紹介し、他学年の児童にも興味をもってもらおう。

○ 学習の展開（全3時間）

第1次 ビブリオバトルについて知ろう	・ビブリオバトルのルールについて説明し、ビブリオバトルのやり方について理解する。 また、図書館担当、学級担任、図書館サポーターがそれぞれのおすすめ本を持ちより、3人でビブリオバトルを行うことで興味・関心を高め、イメージをふくらませる。
第2次 バトルメモを書こう	・大きく「はじめ」「本題」「おわりに」の3つに分け、自分がこの本を読もうと思ったきっかけや、あらすじ、おもしろいと思ったところなど項目ごとに書く。 ・練習をして、発表に慣れる。
第3次 ミニビブリオバトルをしよう	・1人3分間でおすすめ本を紹介する。その後、聞き手が2分間でその本に関する質問をする。 ・全て終わった後に、一番読みたいと思った本を1冊選び、グループの中で一番票を集めた本を「チャンプ本」とする。



【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	<ul style="list-style-type: none">・ビブリオバトルを通して、様々なジャンルの本に興味や関心をもつことができた。・1人3分間、人前で話すことは普段あまり経験のないことだが、緊張しながらも自分の言葉で発表することができていた。
② 課題	<ul style="list-style-type: none">・メモを見ながら下を向いて本の紹介をする児童が多く、人前で発表することに課題がある。・要点をまとめて書くことが難しい児童が多かった。
③ 児童の感想・ふりかえり	<ul style="list-style-type: none">・みんなの前で発表するのは緊張したけれど、友だちのおすすめ本を知れてよかった。今度読んでみたいと思った。・発表するのが苦手だったけれど、楽しくできた。・自分の知らない本を知られてよかった。

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

<ul style="list-style-type: none">・事前に公立図書館の図書館司書の方にビブリオバトルについての話を聞かせていただき、それを参考にして授業を組み立てた。・第1次で教員による本の紹介を行った際、全て違うジャンルの本を紹介したことで、児童も物語・小説だけではなく、スポーツの本や図鑑など様々なジャンルの本を選んでいく。・ビブリオバトルを実施する際、テレビにタイマーを映して、時間の見通しがもてるようにした。・発表者に質問する際、一問一答の質問にならないように、質問の例を提示した。

ミニビブリオバトルトークメモ

4年（ ）組（ ）

はじめ

本を選んだ理由を聞く人に伝える。まずは、きょうみをもってもらおう。

タイトル（作者・出版社・出版年・ジャンル）

自分がこの本を読もうと思ったきっかけ

みんなに語りかけ

本題

本の内容はかんたんに説明する。自分がおもしろいと思う部分にしぼる。

あらすじ（短くまとめる）

おもしろいと思ったところ・感動したところ

登場人物（1番好きな登場人物・なぜ好きなのか）

自分の体験と重ねたエピソード

おわりに

最後に強調したいことをくりかえしたり、オチをつける。

ミニブリオバトルをしよう

4年（ ）組（ ）

ミニブリオバトルメモ

※本のタイトルを書こう。読みたいと思った本の番号に○をしよう。

1	
2	
3	
4	
5	
6	

ミニブリオバトルをふりかえって
